

# 平成25年度ごみ処理実績表

## 1 平成25年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成25年度	平成24年度	増減	対前年度比
人 口（人）	585,503	581,170	4,333	100.7%
世 帯 数（世帯）	264,042	259,860	4,182	101.6%

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成25年度(t)	平成24年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	193,109	194,338	-1,229	99.4%
排出量（集団資源回収を除く）	177,900	178,769	-869	99.5%
一 般 ご み	150,961	152,950	-1,989	98.7%
粗 大 ご み	6,148	5,359	789	114.7%
資 源 物	20,696	20,388	308	101.5%
びん	3,940	3,924	16	100.4%
かん	1,521	1,559	-38	97.6%
金 属 類	1,448	1,424	24	101.7%
ペ ッ ト ボ ト ル	1,981	1,986	-5	99.7%
織 維 類	1,974	2,030	-56	97.2%
紙 類	6,338	5,926	412	107.0%
フラスチック製容器包装	3,494	3,539	-45	98.7%
乾 電 池	86	60	26	143.3%
有 害 ご み（蛍光管）	7	10	-3	70.0%
集 団 資 源 回 収	15,209	15,569	-360	97.7%
災 害 廃 棄 物	2	2	0	100.0%

※ 平成25年度における災害廃棄物の内訳は、一般ごみ610kg、粗大ごみ1,190kg

※ 平成24年度における災害廃棄物の内訳は、粗大ごみ1,700kg

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成25年度(t)	平成24年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	129,581	129,474	107	100.1%
一 般 ご み	102,777	103,784	-1,007	99.0%
粗 大 ご み	6,089	5,312	777	114.6%
資 源 物	20,622	20,308	314	101.5%
乾 電 池	86	60	26	143.3%
有 害 ご み（蛍光管等）	7	10	-3	70.0%
事業系	48,317	49,293	-976	98.0%
一 般 ご み	48,184	49,166	-982	98.0%
粗 大 ご み	59	47	12	125.5%
資 源 物	74	80	-6	92.5%

※ 災害廃棄物は含まない。

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成25年度(t)	平成24年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却処理	157,511	152,172	5,339	103.5%
破碎処理	4,636	4,564	72	101.6%
資源化処理	20,701	20,443	258	101.3%

※ 平成24年度において、戸塚環境センターの大規模改修工事のため焼却処理の一部を他市等へ委託した。

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成25年度(t)	平成24年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	7,822	8,679	-857	90.1%
資源化物	31,502	30,520	982	103.2%
処理困難物	137	127	10	107.9%
一般ごみ（委託処理）	0	7,032	-7,032	皆減
災害廃棄物（委託処理）	0	0	0	100.0%

※ 平成34年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成25年度(t)	平成24年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	31,502	30,520	982	103.2%
焼却残渣金属	632	581	51	108.8%
未酸化鉄	934	1,007	-73	92.8%
未酸化アルミ	86	82	4	104.9%
溶融スラグ	9,104	9,412	-308	96.7%
焼却残渣物（セメント資源）	494	-	494	皆増
再生粗大ごみ	8	12	-4	66.7%
破碎前金属	193	88	105	219.3%
破碎後金属	783	974	-191	80.4%
破碎前アルミ屑	30	24	6	125.0%
破碎後アルミ屑	16	20	-4	80.0%
びん	3,791	3,792	-1	100.0%
飲料かん	1,189	1,242	-53	95.7%
金属類	1,209	1,274	-65	94.9%
繊維類	1,375	1,401	-26	98.1%
ペットボトル	1,684	1,676	8	100.5%
紙類	6,165	5,744	421	107.3%
プラスチック製容器包装	3,171	3,101	70	102.3%
特定家庭用機器	11	19	-8	57.9%
小型家電	534	1	533	53,400%
乾電池	86	58	28	148.3%
二次電池	0	2	-2	皆減
蛍光管	7	10	-3	70.0%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成25年度(g)	平成24年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	904	916	-12	98.7%
1世帯1日あたり	2,004	2,049	-45	97.8%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日

※ 平成34年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

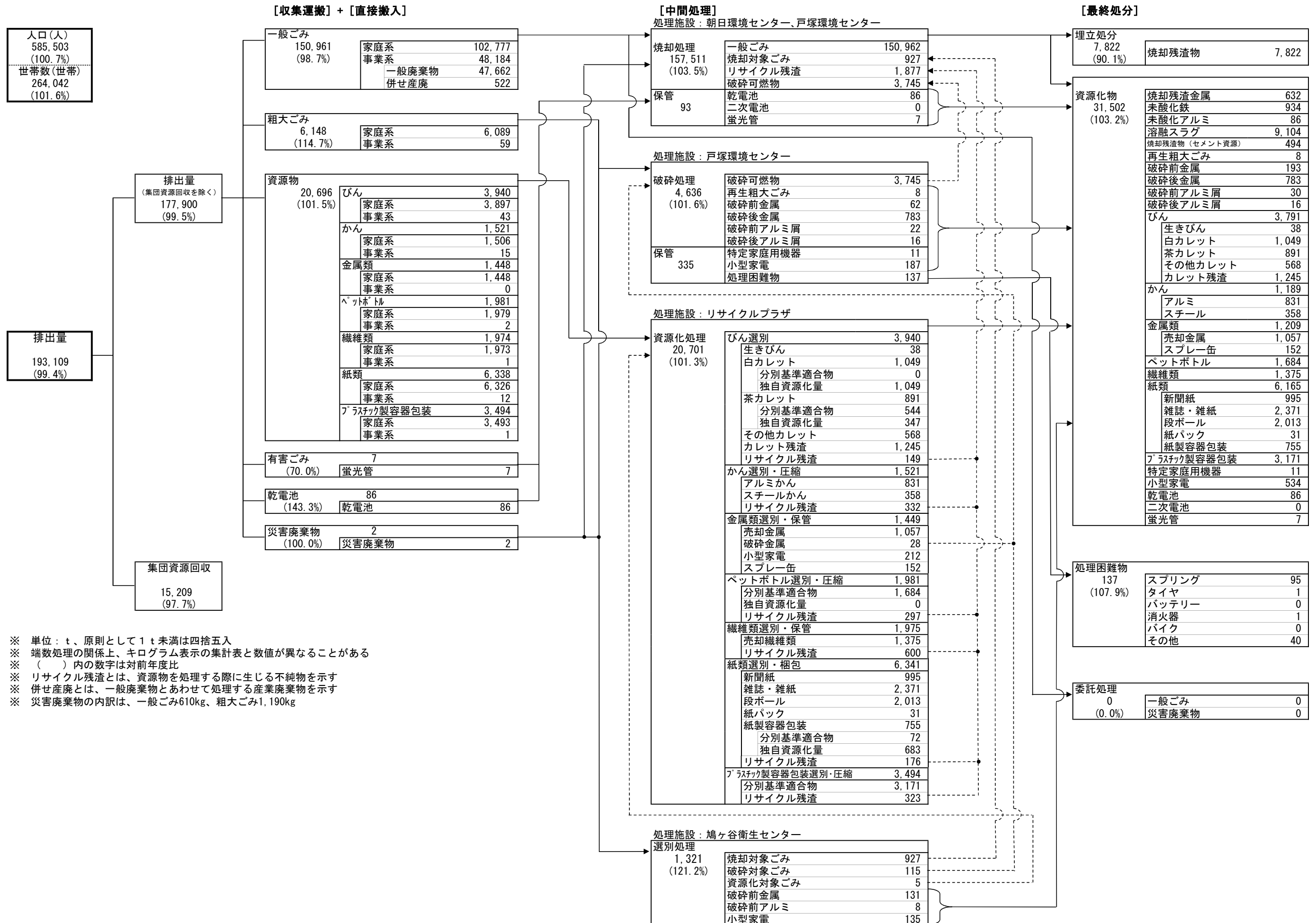
	平成25年度(%)	平成24年度(%)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	17.7%	17.1%	0.6	103.5%
リサイクル率(%)	24.2%	23.7%	0.5	102.1%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 平成34年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

## 2 平成25年度ごみ処理実績フローシート



- ※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
- ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
- ※ ( ) 内の数字は対前年度比
- ※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
- ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す
- ※ 災害廃棄物の内訳は、一般ごみ610kg、粗大ごみ1,190kg

### 3 廃棄物の排出状況について

#### (1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成25年度は、対前年度比1,229t(0.6%)減少した。

図1 排出量の推移

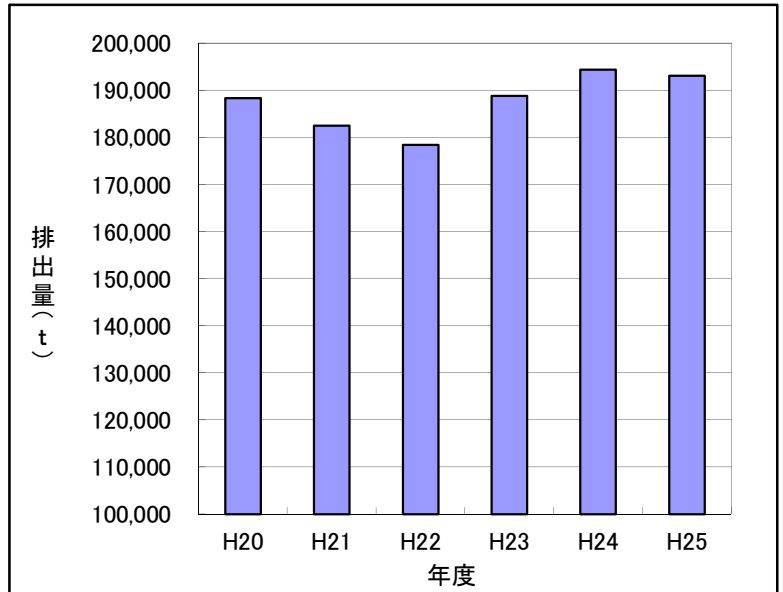


表1 排出量の推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
総発生量	188,294	182,466	178,386	188,772	194,338	193,109
	-	96.9%	97.8%	105.8%	102.9%	99.4%

【下段は、対前年度比率】

※21年度22 t、22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 tの災害廃棄物を含む。

#### (2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成25年度は、対前年度869 t(0.5%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

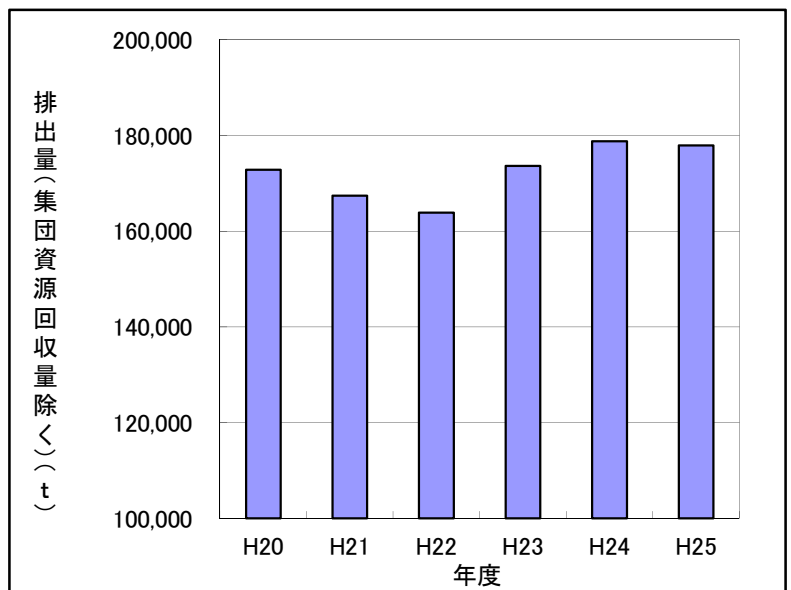


表2 総排出量の推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
総排出量	172,858	167,423	163,906	173,672	178,769	177,900
	-	96.9%	97.9%	106.0%	102.9%	99.5%

【下段は、対前年度比率】

※21年度22 t、22年度32 t、23年度29 t、24年度2 t、25年度2 tの災害廃棄物を含む。

### (3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

排出量（集団資源回収量除く）のうち、家庭系一般廃棄物の占める量については、平成23・24年度は、旧鳩ヶ谷市との合併の影響で増加したが、平成25年度は、対前年度比0.1%の増とほぼ横ばいであった。

事業系一般廃棄物の排出量は平成18年度以降一貫して減少傾向にあり、平成25年度は、対前年度比976t（2.0%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

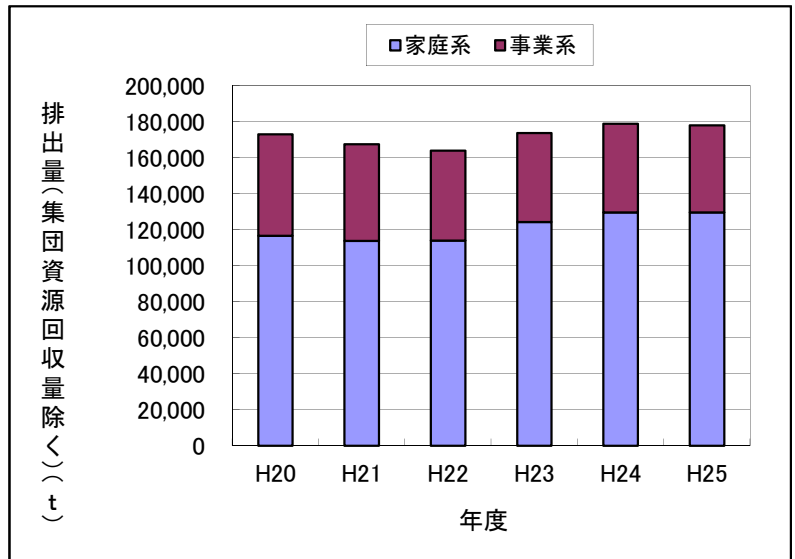


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
家 庭 系	116,568	113,626	113,944	124,138	129,474	129,581
	-	97.5%	100.3%	108.9%	104.3%	100.1%
事 業 系	56,290	53,775	49,930	49,505	49,293	48,317
	-	95.5%	92.8%	99.1%	99.6%	98.0%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系事業系に災害廃棄物は含まない。

### (4) 分別収集の推移

#### ア 一般ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併の影響で増加したが、平成25年度は対前年度比1,989t（1.3%）の減少となった。その内訳として、家庭系一般ごみが1,007t減少、事業系一般ごみが982t減少となった。

図4 一般ごみの推移

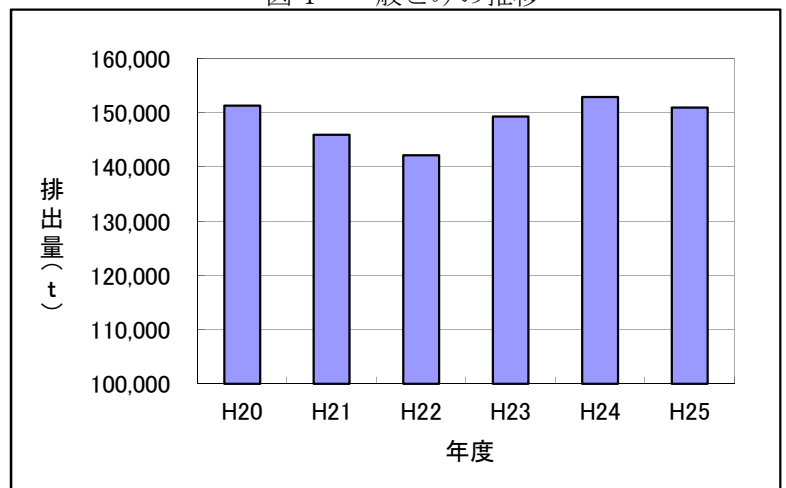


表4 一般ごみの推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
一 般 ご み	151,331	145,933	142,199	149,319	152,950	150,961
	-	96.4%	97.4%	105.0%	102.4%	98.7%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

## イ 粗大ごみ

平成21年度から一貫して増加傾向にあり、平成25年度は、対前年度比789t（14.7%）増加した。その内訳として、家庭系粗大ごみが777t増加、事業系粗大ごみが12t増加となった。

図5 粗大ごみの推移

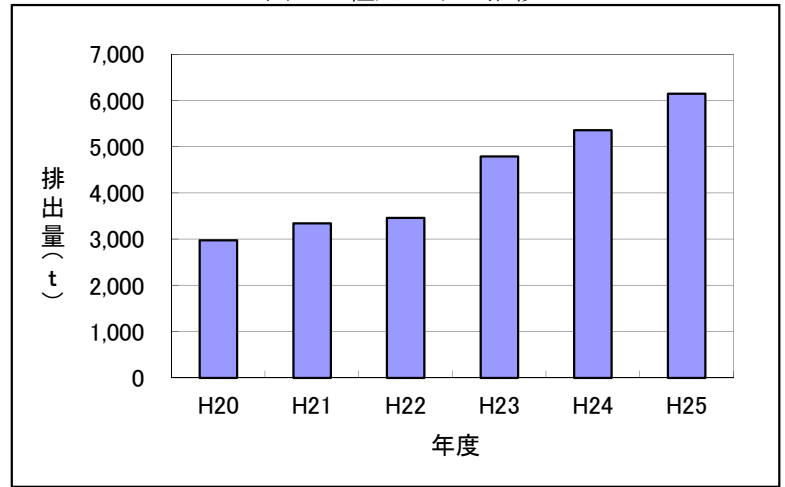


表5 粗大ごみの推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
粗 大 ご み	2,977	3,340	3,460	4,792	5,359	6,148
	-	112.2%	103.6%	138.5%	111.8%	114.7%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

## ウ 資源物

平成19年度から減少傾向にあったが、平成22年度から増加に転じ、平成25年度は対前年度比308t（1.5%）増加した。その内訳としては、家庭系資源物が314t増加し、事業系資源物が6t減少している。

図6 資源物の推移

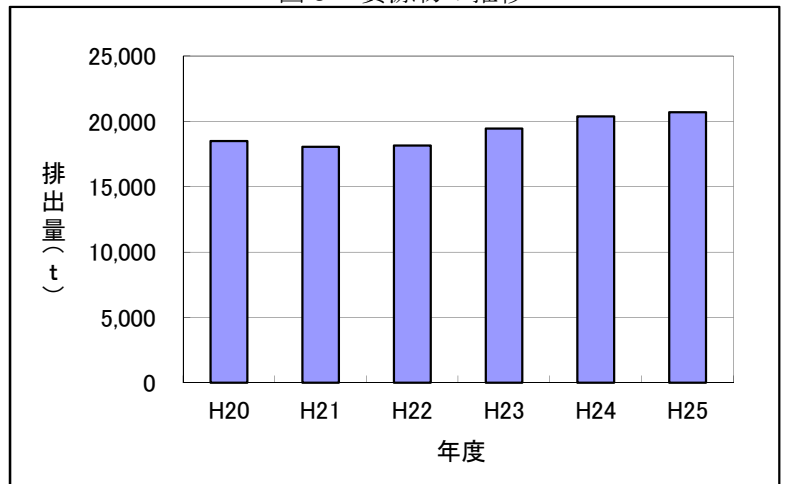


表6 資源物の推移

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25
資 源 物	18,491	18,064	18,150	19,453	20,388	20,696
	-	97.7%	100.5%	107.2%	104.8%	101.5%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。